



千葉県マスコットキャラクター
「チーバくん」

環境だより



川の生きものを探して

川の水質を知ろう



川には、サワガニ、カゲロウ、カワニナ、トンボの幼虫（ヤゴ）など、さまざまな生きものが暮らしています。このように、水中または、水辺で暮らす生きものを、まとめて水生生物と呼びます。

水生生物は、水のきれいさによってすむ種類が違うことから、それらの生物を指標として、川の水質を知ることができます。

全国水生生物調査

全国水生生物調査は、川にすむ生物を採集し、おおよその水質を判定する調査で、夏休みを中心に毎年全国約5万人が参加しています。

すんでいる生き物の種類と数から、川の水質を4階級（きれいな水・ややきれいな水・きたない水・大変きたない水）で判定します。

この調査は、一般の人にもわかりやすく、高価な機材も必要ないことから誰でも簡単に参加できます。



参加の方法は？

【お申込み・問合せ先】千葉県環境研究センター 企画情報室 Tel：0436-24-5309

千葉県ウェブページ／「水生生物による水質調査参加者募集案内」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/wit/suishitsu/suiseiseibutsu/index.html>

どんな人が参加しているの？

ご家族、友人同士、小中学校、各種団体と、さまざまなグループが参加しています。

また、川や、そこで見つかる生物の変化を知るため、毎年同じ場所で調査を行っているグループが、たくさんあります。



ホタルの集まる川の保全活動をしている
仲間と、毎年参加しています。



ぼくは、夏休み自由研究でミズカマキリ
の生態を調べるために参加するよ。

※危険防止のため、調査は子供だけで行わず、必ず大人の方が指導してください。また、ひとりでの行動は大変危険ですので、グループでの参加をお願いします。

全国水生生物調査に参加してくれた 「いちほら水辺の観察会」の皆さんをレポート

観察会の前に、川での注意事項を確認後、浦白川（市原市柿木台）にて調査開始です。



養老川支流の浦白川は、石場が多く透き通った水の流れる川です。



サワガニ

※指標生物 水質階級Ⅰ
きれいな水に生息します



ウグイ



カワゲラ、サワガニ、ヘビトンボ、コオニヤンマ、カワニナなど、たくさんの指標生物が採集できました。その他にもホトケドジョウ、ウグイ、ギバチなどの魚類や、スジエビ、ゲンゴロウも見つかりました。全国水生生物調査の報告のため、指標生物とされているものを分類・同定し、種類と数を調べます。また、調査地点の川の状況も記録します。



さらに観察
します！

観察会の皆さんは、このあと、すぐ近くにある「クオードの森」の小川でも水生生物を観察しました。小川では、あらたにアメリカザリガニ、オケラ、ヨシノボリなど、浦白川では見られなかった生物が見つかりました。浦白川と小川では、川の流れや川底の様子が違うこと、暮らしている水生生物の種類が違うことが、わかりました。

採集した水生生物を、元の川に戻して調査と観察会は終了です。

トウキョウサン
ショウウオも発見！



全国水生生物調査は、川のきれいさを判定するものですが、そこにどのような生物が暮らしているのか、その川の状況は、今どうなのかを知ることで身近にある川に親しみや関心をもつ、きっかけになります。毎年、調査は6月から9月に行われます。皆さんも参加してみたいはかがでしょうか。